

第6回泉崎村地域創生・人口減少対策委員会 議事録

1 日時

平成28年12月14日（水） 15時00分～16時30分

2 出席者

（委員）小林勝衛委員長、小池幸夫委員、堀信幸委員、山田睦子委員、佐藤恭央委員、瀬尾英三委員、安藤正則委員、古川雄二委員、飯沢賢一委員、三村成子委員、野崎靖之委員、長久保重行委員、小林成吉委員

（泉崎村）村長、副村長、教育長（以下事務局）

総務課長、総務課企画財政グループ長、総務課企画財政グループ主任主査

3 議題

- （1）泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略の各施策の実施状況について
- （2）地方創生拠点整備交付金に係る地域再生計画について
- （3）その他

4 決定事項・確認事項

- （1）議題（1）について、各施策の実施状況を事務局から報告。
- （2）議題（2）について、村の実施計画を事務局から報告。
- （3）その他について、今後の日程について事務局から報告。

5 発言者名、発言者ごとの発言内容

以下のとおり

司会(総務課企画財政グループ長)	<p>ー開式ー</p> <p>年末のお忙しいなか、ご出席をいただきましてありがとうございます。定刻となりましたので、只今から第6回泉崎村地域創生・人口減少対策委員会を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>はじめに泉崎村長久保木正大よりご挨拶申し上げます。</p>
久保木村長	<p>ー村長あいさつー</p> <p>皆様方には大変師走のお忙しい中をお集まりをいただきまして、心より御礼を申し上げます。</p> <p>第6回を迎えております泉崎村地域創生・人口減少対策委員会でございますけれども、今まで、作り上げるところから、現在は動いているところですが、これから経過報告と共に、この会議が長く続けられて、皆様に経過報告をしながら、村の行く末を見守っていただきたいなと思っております。</p> <p>今まで皆さんにお話した中身について、今までの計画の中身については、順調に経過していると思っておりますところですが、これからもこの会議を中心に大いに活かして地域創生、村の活性化につなげていきたいと思っております。</p> <p>人口減少の問題とリンクしておりますけれども、地方創生をしっかりと我々が、作り上げることによって、提言を受けそれを具現化することによって、この泉崎村が、間違いなく、良い方向に向かうのだらうと思っております。</p> <p>各委員の皆様には、経済会から、あるいは農業者から色々な関係者がおられます。その中で視点の違うご意見が出てくるのかなと思えます。そのようなことをお伝えしながら、ますますこの会が発展していくように願っております。</p> <p>この裏に始まりましたけれども、介護施設が民間の力を借りながらスタートをいたしました。そして現場も始まったようでございます。</p> <p>あるいは今日も料理に出てくるのか分かりませんが、養殖業者が民間で起業しております。</p> <p>やはり行政だけで一から十までやるという時代は過ぎているのだらうと私は思っております。民間のそういった方々の力を活用しながら、両方でやっていければ、1番いいのかなと思っております。</p> <p>貴重なご意見を拝聴しながら進めてまいりたいと思えます。どうぞ、よろしくお願いいたします。</p>

司会	<p>ありがとうございました。続きまして、小林委員長よりご挨拶をいただきます。</p>
小林委員長	<p>ー委員長あいさつー</p> <p>農業委員の小林でございます。座ったままで、ご挨拶させていただきますので、お許し願いたいと思います。</p> <p>日ごろ、皆様方におかれましては、年末の大変お忙しい中、委員会にご出席をいただきありがとうございます。</p> <p>前回、第5回の会議においては、平成27年度の事業に対する総合戦略の中身におかれている評価システムの実施状況に関わる地域再生計画を議題としております。</p> <p>村の方では、来年度の予算編成を行っている段階と聞いております。新たな課題が出てきたという場合におきましては、村の取り組みに対して改善を求めることが出来るとお伺いしておりますので、個別の施策、事業以外についても忌憚なく、いろいろなご意見を伺いたいと思います。</p> <p>なお、本日は、村のご配慮で懇親会を予定していただいていることとございますので、よろしく願いをいたしまして、挨拶に代えさせていただきます。</p>
司会	<p>ありがとうございました。</p>
司会	<p>ー議事ー</p> <p>続きまして、早速、次第の議事に移りたいと思います。</p> <p>ここからの進行は小林委員長にお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
小林委員長	<p>只今、事務局から委員長が座長ということで話がありましたので、改めまして、小林でございますが、円滑な進行にご協力頂きますようよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、早速ではございますが、議事に入らせて頂きます。</p> <p>次第の4議事の(1)について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、泉崎村まち・ひと・しごと総合戦略の各施策の実行状況についてご説明いたします。</p> <p>45ページほどあるちょっと厚めの冊子をご覧ください。</p> <p>こちらの見方を改めて再確認いたしますが、PDCA サイクル進捗管理シートとなっておりまして、基本目標とあるのが、総合戦略の基本目標となっております。</p>

施策の枠組みとなっているのが、総合戦略に書かれている施策の枠組みになっております。

施策の枠組みを実施するために具体的な施策としてあがっているのが、1 ページ目で言いますと、非婚化・晩婚化対策。

具体的な施策を実施するための主な取り組みとして、あげていたのが、婚活イベントの企画になります。

事業概要がありまして、そこに最終予算額とありますが、これは28年12月1日現在の値を記載しております。

次の中段の欄に移っていただきまして、そこにK P I があるのですが、これが総合戦略に重要業績評価指標のK P I になりまして、こちらの45 ページの資料のK P I は総合戦略に載っているすべてのK P I になります。

K P I に直接関係する事業が今回、評価、報告する内容になっております。

下の段の評価、28 年度評価という所なのですが、これはあくまでも12月1日現在のものを書いたものでして、年度末まで若干期間がありますので、まだ年度途中のものであることをご了承ください。

続きましてその下の段の改善となっておりますが、まだ年度途中なので、本来でしたらここは、来年度29 年度における取り組みなどを記入する欄なのですが、1 月以降どういう取り組みを行うかを記載してもらっているところなのですが、記載をしている中身の精査がきちんと進んでいなくて、各担当で、バラバラの内容を書いたりするので、今回はあくまでも中間報告という形で、次回、事業が終了後にきちんとしたものを再度提出したいと思っております。

K P I のところの数値が12月1日現在で出してもらいたかったのですが、1 年間やったらこれくらいになるだろうというところで、報告をしている課もありますので、これが必ず12月1日現在の数値だとは限らないことになっておりまして、その点、ご了承いただきたいと思えます。

では、1 ページからご説明したいと思います。

まず、1 ページ目は婚活イベントの企画ということで、予算額は10 万円、4 回開催しまして、8 人の参加があったということになっております。

次のページに移りまして、2 ページ目、こちらの事業は乳幼児健診の事業で予算額は77 万4 千円、子供たちに対する予防接種とか定期健診といったものの事業になっています。28 年度の数値としては、99.2%で達成率は101%、事業の評価としては、継続して事業を実施していくとなっております。

次の3ページ目に移りまして、基礎学力向上推進事業、こちらの予算額は1890万5千円、これはプチスクールと言って土曜学校を資料館のほうで開催している事業になります。KPIが47回、達成率は92%、ほぼ目標のとおり進捗しているようです。

次、4ページに移りまして、学校などを通じた健康教育、食育の充実事業ということで、予算額が0となっていますが、この総合戦略の策定した時期が28年の2月だったものですから、28年度予算に反映させることができなかつたため、予算額が0となっています。28年度の実施状況は未導入で0%です。評価としましては栄養士による食育教育を給食の時間などに実施しているとなっています。

次のページ5ページに移りまして、泉崎村特定不妊治療助成事業、予算額は75万円になっています。不妊治療に対する助成をする事業です。KPIの達成率は1人ということで50%になっています。評価としましては継続して事業を実施していくとなっています。

次のページに移りまして、ワークライフバランス啓発推進事業となっています。予算額は0で、ワークライフバランスの優良企業を認定するための事業をやろうということだったのですが、28年度はまだ実施していないので、達成率は0%になります。28年度の評価としましては、情報収集を行い制度設計に向けた作業を実施していきたいと考えています。

次のページに移りまして、企業誘致事業につきましては、予算額が257万4千円になります。企業誘致のための事業で、KPIは1社誘致が行われまして、33%の達成率になっております。評価としましては、中核工業団地において買い増しや新規購入を含め、3件の土地の売買がありその内2社が来年度から事業を開始していることから、雇用創出についても期待をしているとなっています。

次のページに移りまして、高度化資金等の助成制度の促進事業、予算額は0です。KPIについても0件で、達成率0%になっています。評価としましては、助成制度の利用はないが、今後も県や村商工会との連携を満つに行い村内商店街の活性化を図るとなっています。

次のページに移りまして、商店の活性化事業となっておりまして、予算額が書いていないのですが、担当課では予算を取っていないということなので、予算額0と考えていいと思います。村内の商店数については、変わりなく34軒で、達成率は90%になっています。

次のページに移りまして、新規創業者、新事業展開補助金事業となっていますが、予算額が0になっております。この補助事業、自体がまだ制度化されていないため、予算が0でKPIの達成も0で、

達成率も0%となっています。評価につきましては、今年度中核工業団地の土地が売買されたことにより、来年度から新規事業者が工場の操業を開始する予定としていることから、村内、住民の雇用を働きかけをしたいと考えております。

次のページに移りまして、地産地消の推進事業となっておりますが、こちら予算額が書いていないのですが、これ自体の予算を特に取っていないようですので、予算額が0となっています。KPIは昨年と変わらず9件で、達成率は75%となっております。地産地消の推進事業ということで、そのみの事業は特別実施していなかったため、他の事業でPRしている中身が今回ここに記載されている形になっているので、担当課には総合戦略にこういった事業が載っているの、こういった事業を実施してくださいと依頼したいと思っています。

次のページに移りまして、観光案内所を兼ねた直売所建設事業になりますが、こちらの予算額が291万円となっております。これは後ほど次の議題のところ詳しい説明があると思いますが、直売所の数はKPIとしては、直売所の数が0箇所となっていて、達成率は0%となっています。

次のページに移りまして、県のアンテナショップへの出品事業としまして、こちら予算額が0となっております、県のアンテナショップに29年1月21日と22日に地元農産物やほと麦製品を販売する予定していると評価に書かれていますが、常時置いてほしいということで、このKPIは設定しているので、なるべくそういう取り組みをしてほしいとお願いしたいと思っています。

次のページの経営体育成事業につきましては、予算額が記入されていませんが、予算額は0ということでした。KPIにつきましても、0件で達成率も0%になってしまいました。評価としましては、今年度については実績がなかったが、今後、福島県、JA等関係機関と連携して事業の継続を図るとしています。

次の集落営農対策事業なのですが、こちら予算額0となっておりますがKPIの達成も0件で、達成率も0%となっています。

次のページに移りまして、6次産業化の推進事業となっていて、予算額が215万8千円になっています。こちらは、事業の概要としましては、魅力ある農業を推進するため、農薬を使用しない農法の有機栽培を実施する。事業の内容としましては、試験研究を目的とした農地を借用し、一般参加により有機栽培を実施する。また、将来的には収穫した農産物を素材にした6次商品の開発を行い村の魅力を発信できる特産品にするとなっていて、こちらにつきましても次の議題で取り上げます、再生計画のところ詳しい記載が

ありますので、そちらをご覧くださいと思います。こちらのKPIにつきましては、6次産業化による製品開発数はまだ0件で、達成率0%になっています。

次のページに移りまして、新規就農者への支援事業となっておりまして、予算額は525万円となっておりますが、新規就農者数は0件で達成率0%になっています。

次のページに移りまして、泉崎村ライフスタイル提案事業となっておりまして、こちらも予算は取っていませんでしたので、予算額は0でまだ、ライフスタイルの調査も実施しておりませんし、冊子の作成もしていないということで、達成率は両方とも0%となっています。

次のページに移りまして、Uターン者等の奨学金減免事業となっておりますが、こちらも予算額が0となっております。泉崎村の育英基金の奨学金の返済を減免するという事業だったのですが、まだ取り組んでいないということで、達成率は0%になっています。

次のページの地域おこし協力隊の活用事業につきましても、予算額が0で、まだ、地域おこし協力隊の受け入れを行っていないため、KPIが0で達成率も0%。

次のページに移りまして、公営住宅、定住促進住宅長寿命化対策事業につきましても、予算額が0となっております。また、事業を実施していないため、達成率も0%となっております。

次の若者定住賃貸住宅建設事業につきましては、予算額が1440万となっております。こちらは、28年度につきましては、1棟建設中で今後、募集をかけて当選された方に引渡しを行う予定となっております。

次のページに移りまして、Suicaの設置事業につきましては、予算額0で、こちらは泉崎駅に簡易Suicaの改札機の設置をJR東日本へ要望したのですが、なかなか難しいとの回答がありましたが、継続して要望していきたいと考えております。

次のページに移りまして、高速バス乗降所の設置事業につきましては、予算額が1338万1千円となっております。こちらは矢吹インターチェンジ付近に矢吹・泉崎バスストップという高速バスの停留所の整備を目指しているもので、今年度につきましては、矢吹町が中心となりまして、測量、設計、用地交渉を行っておりますが、まだ、完成していないということで、達成率は0%となっております。

次のページに移りまして、泉崎村の特産品を生かした食育推進事業となっております。予算額は0で、こちらは学校の給食に泉崎村の野菜ですとか特産品を使いましょうということだったのですが、KPIは月延べ45回という目標だったのですが、28年

度につきましては、今のところ月 23 回で、達成率が 51%になっております。達成率が下がった要因としては、村内産で利用しているものは加工物が多くて、生ものの利用ができないということで、達成率が下がっていることです。

次のページに移りまして、泉崎の魅力発見事業につきましては、担当課からは実施していないということで、連絡が来ていますが、泉崎村の加速化交付金の事業を実施しているので、本来はここに事業が上がってくるはずなのですが、未実施で 0%となっていますが、次回の最終的な報告で評価をいただくときには、きちんとした数字を入れておきたいと思います。

次のページに移りまして、公衆無線 LAN 整備事業につきましては、予算額 324 万円で、今年度につきましては、泉崎村役場と保健福祉総合センター、農村環境改善センターの 3 箇所に公衆無線 LAN のアクセスポイントを整備する予定になっております。KPI としては、村のホームページのアクセス数なのですが、スマートフォンとか携帯電話からのアクセスの回数になります。1 日 30 件という目標であったのですが、154 回ということで、目標は達成しております。

次のページに移りまして、SNS を活用した情報発信事業ということで、予算額 60 万円、こちらは、泉崎村のホームページが SNS に対応していますので、そちらのアクセス数になるのですが、こちらはパソコンからのアクセスですとかスマホからのアクセスを全て含めた値になっていまして、28 年度は 1 日当たり 1846 回のアクセスがありますので、達成をしていることになります。

次のページに移りまして観光モデルコースの策定事業とあるのですが、予算額が 0 で、まだ事業に取り組んでいないため未策定で達成率は 0%になっています。

次のページに移りまして、スポーツ合宿の誘致促進事業となりまして、達成率につきましては 125 件で 83%になっています。

次のページに移りまして、指導者及びスポーツ推進員の育成事業としましては、14 万 8 千円の予算額でスポーツ推進員の育成数となっていますが、人数に変更がないのでそのままの値で、達成率は 73%となっています。

次のページに移りまして、文化財マップや説明版の設置事業となっていますが、予算額 0 で、今年度事業を実施していないので、達成率も 0%となっております。

次のページに移りまして、新たな活動団体の招致事業としても予算額が 0 なので、KPI の数値が入っていませんが、文化団体数の数に変更はないため、72%の達成率値となっています。

次のページに移りまして、世代間交流事業の推進実施事業になっていますが、予算額が0のため、本年度事業を実施していないので、達成率も0%となっています。

次のページのコミュニティ交通の充実事業となっていますのは、村内をふれあい号という1BOXタイプの車で村民の方の送迎をしているものがあるのですけれども、そちらの利用者数が年間で2500人を目標としていたのですが、28年度につきましては、今のところ1820人ということで達成率74%になっています。

次のページに移りまして、空き家対策事業なのですが予算額0になっておりまして、これは昨年度、地方創生の先行型交付金で事業を実施しているのですが、上の段のKPIの実施済み100%となっているのですが、昨年度実施したから実施済だろうと思い担当課では書いてきているのですが、今年度については、調査を実施していないので、ここは0%になるのではないかなと考えております。この辺は最終的にきちんとしたものをお伝えしたいと思います。

その下の空き家バンクの登録につきましては、まだ登録をされていないので、達成率0%になっております。

次の消防団の充実事業につきましては、1757万1千円に予算額がなっています。消防団員数に変化はないので、達成率100%になっています。

次のページに移りまして、災害時応援協定の締結事業となりますが、予算額は0で、現在締結している災害時応援協定は3件ですので、移動がないため達成率75%となっています。現在の評価としましては、長野県の下條村との間に災害協定の締結の動きがあり、また、日本郵政株式会社泉崎郵便局との間にも平常時の高齢者の見守り、村道等の損傷箇所の発見時の対応及び不法投棄発見時の対応を含めた災害時の協力に係る協定の締結について協議を進めているところです。

次のページに移りまして、公共施設実態調査の実施とありますが、これは予算額が0なのですが、村にある全ての公共施設の実態調査を行うことによりまして、今後の更新の費用とかの必要になるものを算出しまして計画的に維持管理を行っていこうというもので、今年度についてはまだ調査を実施していないため、未実施で達成率は0%となっています。

次のページに移りまして、村の情報機関システムのクラウド化なのですが、予算額は0なのですが、こちらは白河地域市町村クラウド化検討グループがありまして、こちらで、クラウド化に向けた検討を行って目標としては、平成30年度に共同クラウド化をしようということで進んでおりますが、まだ、クラウド化の実施には到って

いないため、28年度は未実施で達成率0%となっています。

次のページに移りまして、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護への優遇措置制度への検討とあるのですが、予算額は0で、今年度につきましては、未着手のため数値も0で、ごめんなさい。優遇措置制度の検討はまだ、検討しているという段階ですが、こちらのKPIで設定されている地域密着型老人ホーム数が1とあるのは、現在、建設が進んでいまして、まだ、完成していないため、数値が0となっていて、達成率は0%となっています。

次のページに移りまして、救急医療体制の維持及び充実につきましては、予算額が0でKPIとして広域的医療機関との連携事業を1事業やるということでしたが、まだ、事業を実施していませんので0で、達成率も0%となっています。

次のページに移りまして、ボランティアリーダーの育成事業の実施につきましては、予算額が0のため、今年度はまだ実施していないので、数値は0で達成率も0%となっています。

次のページに移りまして、ボランティア連絡協議会の機能強化事業につきましては、予算額は5万円となっております。ボランティア団体数については昨年と変更がなく8団体ということですので、達成率80%になっています。

次のページに移りまして、白河地域定住自立圏形成協定につきましては、予算額3002万1千円となっておりますが、こちらの予算額につきましては、白河地域定住自立圏協定の中で結ばれました白河地域定住自立圏共生ビジョンに載っている事業で、実施している事業をトータルしたものがこの数値になりまして、28年度泉崎村では、12事業を実施しております。達成率は29%となっています。この事業なのですが、特別交付税の措置が対象になっているものなのですが、昨年度より事業数が減っておりますので、満額の措置がもらえるように該当である41事業全てを実施するように各課に要請していきたいと考えています。

以上で、各施策の実施状況についての説明を終わります。

小林委員長

はい、それではここで皆様のご意見を拝聴する予定でしたが、今、まち・ひと・しごと施策の中で、この次にでてくる地方創生拠点整備交付金に係る地域再生計画の中の事業と大分被っておりますので、2番の説明を受けてから、総合的に皆様のご意見を拝聴したいと思っております。

それでは、事務局。

事務局

再生計画の前に若干、こちらの加速化交付金の説明をさせていた

だきたいと思います。

こちらの事業につきましては、前回の委員会の時に内容等をご説明させていただきましたが、平成 27 年度からの繰越事業ということで、平成 28 年、今現在実施している事業でございます。

基本的には鳥峠を中心とした各種取り組みと駅周辺整備計画、さらに移住定住に関する取り組みと村の PR ビデオの作成の大きく 4 項目に分かれております。

まず、鳥峠を中心とした取り組みにつきましては、4 つ書いてありますが、基本計画、今現在策定中でありまして、年度末までには策定完了となる予定でございます。

また、2 番目の講師謝金及び案内人育成のところは 150 万とっておりますが、こちらにつきましては、鳥峠の利活用の面で守る会の方で、今年度 8 回ほど幼稚園、小学生、あるいは学校の先生を対象とした色々な観察会等実施しております。

さらに遊歩道の環境整備というところございますが、こちらにつきましても、木柵等を設置するという事業を既に進めておりまして、年度末までには仕上がる形になっております。

さらには、伝統芸能発表会などの開催経費でございますが、こちらにつきましては、来年 4 月に仮称ではございますが、かたくりという花のお祭りを実施したいということがございまして、それに向けた準備を現在進めているところでございます。

次に二つ目駅周辺整備に係る取り組みでございますが、こちらにつきましては、東口の設置に関する取り組みでございます。

現在、東口の基本計画の部分について、JR コンサルの方に策定を委託し、こちらの方も年度末までには、完了したいと考えております。

三つ目の移住定住の関係でございますが、先ほど賃貸住宅、既に 1 棟出来上がってございまして、入居者も決まっております。そちらの募集関係にもこちらの経費を利用しまして、取り組みました。

さらには 28 年度事業ということで、間もなく完成するところでございますが、こちらの入居者募集についても、こちらの予算をいただきながら、進めて行きたいと考えているところでございます。

最後になりますが、村の PR ビデオ、パンフレットにつきましては、今、盛んに作成を進めているところでございまして、こちらにつきましても、28 年度中には完成するという予定になっております。

加速化交付金につきましては以上でございます。

それでは、議事の 2 番にあります地方創生拠点整備交付金に係る地域再生計画ということで、地域再生計画をご覧いただきたいと思っております。

基本的に地方創生に係る補助金、国の方でもかなりのメニューがあるのですが、その補助金をいただくときには、その市町村独自にこういった計画を作って申請する必要があります。

この計画書の中身につきましては、後で説明をさせていただきたいと思いますが、実は今回、10月11日に国の第2次補正予算、こちらの方が成立をいたしました。

昨日も議会の一般質問がございまして、総合直売所に関する質問の中で、財源はどうするのだというお話があったものですから、若干ご説明はいたしましたが、10月11日に成立いたしました国の第2次補正の中に地方創生に関するところで、拠点整備交付金というのが措置されております。

これは補助金ベースで900億円ですね。事業費にしますと1800億という形になります。要は事業費2分の1を国の方で補助しますという形のメニューになっております。

その関係がございまして、メニューの中に6次化を含む収益施設も今回の拠点整備に該当させますよというところがあったものですから、村の方で総合直売所を検討して27年から事務局で検討しておりました。

これが該当になるのではないかとということで、10月31日、仙台の方に行きまして、国の役人に直接相談をさせていただきました。

その結果、基本的に可能性は0ではないという返事をいただきましたので、申請に向けて準備に取り掛かっているところでございます。

今現在、国との事前の相談中がございまして、かなりの回数、相談しているところなのですが、実際の申請は来年の1月4日を予定しております。

で、国の審査を経まして1月下旬に採択となる市町村が発表されるということになっております。

事業費等はこちらでご説明をしたいと思います。

この交付金なのですが、今までの交付金を見ておきますと申請をしたから必ず採択になるというものではございませんで、前回の推進交付金につきましては、大体7割から8割の間くらいの採択率という形になっております。

国の方でも色々な基準で審査をしまして、点数化しまして該当になる市町村を決めているという形になっておまして、基本的に大体7割から8割くらいの採択率という形になっております。

本村におきましては、今回、長年計画をしております総合直売関係がございまして、何とか採択を受けたいということで、盛んに国の方に相談をしながら今取り組みを進めているところでございま

す。

その関係で今回、地域再生計画ということで、まずは、計画書を出すという形になります。

この計画書を出した後に整備計画という、またちょっとページ数の多いものですが、そちらの方を仕上げて1月4日に出すと、後は結果を待つとなっています。

それでは地域再生計画の中身について、ご説明をさせていただきます。

基本的には、全てこういったスタイルで何か補助金をいただく時には、今後もこういったものを作るという形になりますが、今回は農業分野の部分で我々は申請をするという考えを持っております。

そういったところもありますので、再生計画の目標としては農家総数とかが減少して、あるいは原子力発電所災害が影響して、かなり農業がダメージを受けていると、農業がダメージを受けることによって、地域もダメージを受けているところを改善していくために、今回、大型の施設を整備してそこを拠点にして取り組みを進めながら、地域創生を図っていくということで、ここの4番の目標のところに書いてあります。

これを実際に具体的にどうするのかというところで、ページをめぐっていただいて2ページになるのですが、5番目のところに地方創生拠点整備交付金というのが入ってまいります。

今回、村の方では、この拠点整備を行うにあたりまして、事業の名称を作りました。

泉崎村の魅力ある農業と未来に向けた農業拠点整備プロジェクトとタイトルをつけまして、これで申請をするという形で今、事業を進めているところです。

中身につきましては、当然、目標のところにも書いてあるのですが、こういった理由で、どんなものが必要かと、だからこの施設を整備するのですよというところ書いているのですが、実際の具体的な事業内容として、この拠点を作った後に3ページの上になるのですが実施予定事業として、5つほどを示しまして、一つ目は農産物の販売、二つ目はインターネットを活用したPRと販売、さらに三つ目としては、特産品を開発し試験研究を行いながら、加工品の開発、販売を行う、四つ目では、そういったものを利用して学校給食センターとか福祉部門と連携をしながら取り組みを進めていく、さらには現在、南信州の下條村、あるいは南会津と協定を結びながら様々な交流を図っておりますが、そういった所とも連携をしながら様々な取り組みを進めているということで、今回申請をする拠点施設につきましましては、色々な事業が可能だと、さらにその事業を実践しな

がら率先して進めていき、地域創生、地域再生を図っていくという
ことで、こちらの事業計画を立てております。

さらにはですね、地方創生については、こちらの先導的理由がない
とだめだということになっています。

これが4番の事業が先導的であると認められる理由になるのです
が、4項目ございます。

実は、この4項目、国のほうでは1項目以上は書いてくださいと
いうことになっているのですが、どうも今までの流れを見ています
と4項目全て入れていないところについては、最初から駄目だよと
いう感じみたいですので、そういった中身もあるものですから、村
といたしましては4項目全て中身を整理しながら書いてみました。

まず、自立性の部分でございますが、当然あの、村の補助を得ない
で最終的にはその物産館が、自立しながら収益を上げていけるの
だということをもまず示さないといけないのですね。そういったと
ころで、色々な団体と協力をしながら販売収益を上げて、自立した
経営を目指していきますということで、ここであげています。

また、次の二つ目の官民共同でございますが、基本的に作ったら
それまでということではなくて、村のほうも様々な協力をしながら
一緒に取り組んで地域の活性化に繋げていくのですよということ
で、村の協力体制もしっかりしていますよと2番目の官民共同のと
ころに書いております。

さらに政策間の連携というところで、三つ目のところございま
すが、先ほどの目標のところでもお話をしましたようにこれから作
ろうとしている加工品、あるいは有機農法による野菜等、そういった
ものを学校給食等で利用しながら、子供たちの教育にも役立てて
いく、さらには老人のお弁当ですね、居宅老人のお弁当の食材とし
てそういったものを、使っていくながら、配達をするときの見守り
に繋げていくとかという取り組みを複合的にやっていながらその
施設を拠点とした取り組みを進めていくとして、この政策間連携は
書かれています。

さらに4ページに地域間連携ということで四つ目でございますが、
これは先ほど申し上げましたように、長野県の下條村と南会津です
ね。こちらの方と様々な協力体制をとりながら事業展開を謳ってお
りますので、この地域にないものを取り入れながらさらに幅を広げ
ながら、事業を進めていくということで地域間連携を進めていきま
す。

この四つの先導的な理由がかなりのポイントになるということ
で、国の審査もここに重きをおきながら審査をするようございま
す。

なお、今回、前段で KPI の話がございました説明をさせていただいたわけですが、当然、これにつきましても KPI を設定しなくてはなりません。

今回、3 つほど KPI を設定させていただきまして、まず一つは、6 次化の産業館全体での販売の金額、収益金額を一つ目の KPI にしました。

二つ目につきましては雇用というものが大事だということで 6 次化産業館における雇用者数、これを二つ目の KPI に設定しました。

さらに三つ目でございますが、今後、村の目玉を作るにあたっての取り組みとして有機栽培に関わるものを一つ入れまして、就業人口でございますが、これをいれました。

この三つを KPI、評価指数としまして国の方には申請をしたいと考えております。

5 ページを見ていただきたいのですが、今回の交付金、先ほど申し上げましたように国の予算額は 900 億円でございます。全国で 900 億です。事業費ベースにいたしますと 1800 億ということで、泉崎村におきましては、今回申請をする建物につきましては、総事業費 1 億 1000 万を計画しております。

この中で 5500 万、50%が交付金、残りの 5500 万円につきましては、補正予算債という起債、借金にはなるのですが、起債の該当になる。さらにはその起債をした 50%、2550 万については、後年度、交付税で措置をされるということでございまして、最終的には補助率 75%という形の交付金事業になります。

いずれにしましても、色々な事前の相談を踏まえまして、1 月 4 日申請をするという形で今進めております。

事務方としても採択となるように一生懸命取り組んでいるところでありますが、出した後は国の審査を受けるという形になるのですから、1 月下旬の吉報を待ちながら、今、事務を進めているというところでございます。

再生計画については、以上でございます。

小林委員長

それではですね。(1) まち・ひと・しごと創生総合戦略の各施策の実施状況について、(2) 地方創生拠点整備交付金に係る地域再生計画についてということで、事務局から説明をいただきました。

皆さんからお気づきの点、ご意見がございましたなら、何なりとお出しを願って、今後の活動に役立てたいと思います。

それと先ほど観光マップの話が出てきましたが、教育委員会の方で文化財ガイドマップがありますので、後で拝見していただければなと思います。

<p>教育長</p>	<p>ご意見、ございませんか。</p> <p>教育長さん、プチスクールが大分好評のようなのですが、3 ページについて、詳しく説明していただけますか。</p> <p>それでは、3 ページのプチスクールについてです。27 年度 47 回、今年も今のところ 47 回ということで開催しております。</p> <p>土曜日の 10 時から 12 時までが小学 5、6 年生を対象に、午後の 1 時から 3 時まで中学生を対象に開催しています。</p> <p>教科は国語、算数の基礎学力の充実、定着を目標にしています。</p> <p>募集を 5 月下旬から行いまして、希望してきた方々に対して、村の方で塾の先生を講師として用意し、場所は村の図書館の資料館の脇の 1 室を 30 人弱が入れるように机を配置しまして、子供たちを集め、先ほど言いました村の学習塾の先生方が、個別という大手の学習塾がありまして、その先生も国語、算数と教科がわかれているものですから、村の塾の先生だけでは手当てできないところを、個別学院からの講師をお招きして、学習を開催しているわけなのです。</p> <p>利用状況としましては、今年は小学生、5、6 年生の方は 16 名くらいです。中学校の方は大変多くて、4、50 人ですので、クラス分けをしてやっているという状況です。</p> <p>中学になると高校進学が目前に迫りますので、欠席者も少なく熱心に、本当に真剣に学習をしているというのが、毎回です。</p> <p>小学生は、たまにイベントのある 11 月とかは欠席する子もややあったりして、15、6 人といっても、10 人、ちょっと少ないというような日もあるようですが、そこは意識の違いがあるかなと思います。</p> <p>なかなかお金がなくて塾にいけない子ですとか、または、塾までの送り迎えが大変だというご家庭にとっては、自転車でも来れますので、子供達が自分の足でも来れる、帰れるということで、大変便利もいいし、もっと学習をしたい子にとってはいいかなと思っております。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>教育長さんから、プチスクールの成果などについて説明をいただきました。</p> <p>議題の 1 番、2 番の説明の中で、皆さんから何でもいいですので、この事業はこのようにしたらいいのじゃないかとか、こう直したらいいのではないかと。何でも結構でございますので、ご意見をお願いしたいと思います。</p>
<p>長久保委員</p>	<p>一つ、お伺いしてもいいですか。</p>

小林委員長	はい、どうぞ。
長久保委員	各事業の予算が 0 円ということなのですが、事業に取り組めば予算を付けるということなのか、あるいは、まだ、その段階ではないというのか。何か事業を始めなさいという時に、予算があれば事業を始めやすいと思うのですが、その辺はどうなのですか。
小林委員長	はい、緑川君。
事務局	<p>はい、こちらの方の策定をしましたのが、28年2月ということでございまして、既に当初予算の編成が終わっている時期でございました。</p> <p>本来であれば、補正予算等で対応するべきところもあるかと思うのですが、当初予算になかったものについては、これに反映をされていないということで、現在0になっています。当然29年度以降この事業、続いてまいりますので、各課と調整をしまして、事業実施にともなう予算は29年度当初予算で、計上をしてくれということをお伝えしたいと思います。</p> <p>予算編成時期と策定時期がずれてしまったということがございまして、大変申し訳ございません。</p>
小林委員長	よろしいですか。
長久保委員	はい。
小林委員長	<p>1番のところで、中核工業団地の記載があったと思うけれども、地元雇用とかが生まれてくるのですか。</p> <p>藤田さん、日野さん、フジ機工さん、フジ機工さんは買い増しだよね。</p> <p>期待されるの、地元雇用は。</p>
副村長	今、フジ機工さんと藤田建設さん、それから日野自動車さんが、中核工業団地を買い求めたのですが、今、具体的に建物を建てて、色々始める話を聞いていますが、その部分の詳細については、ちょっと、何時から何時までに終わらせて、具体的な、どういった物をたてるというのは聞いていないのですが、藤田建設さんは木を木材の集成材を作って組み立てをするというような工場を作りますということです。

<p>小林委員長</p>	<p>鮫川運送さんは、その部分の昔の建物、マイクロハードの建物を買って、それを利用して、倉庫に使いたいということです。</p> <p>フジ機工さんは今作っているものを、新たに工場を増築して、そこでまた、製造をしていきたい。</p> <p>内容については細かく言えない部分があるそうなので、そういった状況で動きがあります。</p>
<p>事務局</p>	<p>婚活パーティーの泉崎村からの男性の参加者はどれくらい参加して知るのか。</p> <p>男性が婚活パーティーに行って引っ張ってくれば大成果なのだけけれど、そういうことの確認はしていないの。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>他町村の女性の方を引っ張ってこられれば、最高なのよね。</p> <p>それでは、最後に村長さんに総合的なことで、賃貸住宅とか直売所とかのお話をいただこうと思っていますが、どうですか。</p> <p>認定農業者の安藤さん、泉崎は何でも農産物が採れるのですね。何でも採れるのですが、天栄村みたいに特産がない。</p> <p>今後の農業についてどう考えていますかね。</p>
<p>安藤委員</p>	<p>特色ある農産物というのは、今後の農業にとっては、必要な施策だろうと思うのですが、なかなか、その見出し方というのは難しいところがある。</p> <p>奇抜な発想というか、思いつき、閃きというのが、認定農業者会の中で集まって、反省会や飲み会などで、今、何をやったら儲かるのだっぺと話が出るのですが、なかなか、それいいんじゃないというのが、難しいですね。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>白河市地方や県南の認定農業者会の会長は何をやっているの。</p>
<p>安藤委員</p>	<p>認定農業者会ではなくて、指導農業士です。</p> <p>この間、東の北條君の祝賀会をやったのですが、色々、6次化してジュースなり、自分のところで作って、直売所も自分で作って販売している。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>農協の所長さん、泉崎の気候風土にあった、こういう作物を作ったらいいというのが、何かないかね。</p>

瀬尾委員	<p>そういった作物は、比較的、先ほどあったように何でも出来る地域なので、JAとして過去から大分、作物を導入してきたのですが、最終的には今ある作物に落ちてしまったというのが、現状なのです。</p> <p>それは、作り易かったり、作業性が、ちょうど作物が他の農産物とかち合わないとかで、定着してきたので、中々、管内にない作物というのは、結局、市場流通以外、先ほど直売所の話が出ましたけれども、そういった直売所に出している生産者は、かなりのアイテム数、品目を持って出しています。</p> <p>農業をやる人そのものが減少していますから。</p>
小林委員長	<p>交通の便も良いし、言うことない泉崎ですね。便利が良すぎて。</p>
瀬尾委員	<p>今、やっている作物がこの泉崎の地域に合っているのではないかと。</p>
小林委員長	<p>電車もある、飛行場まで 20 分、新白河まで 15 分、申し分ないのですよね。</p> <p>一般の農作物だと何を作っても採れるのです。お米も旨いでしょ。</p>
小池委員	<p>よろしいですか。</p>
小林委員長	<p>はい、どうぞ。</p>
小池委員	<p>今、非常に便が良いということで、人の流れを作るという中で、SNS を拝見すると、非常にすごい確率で伸びている。</p> <p>じゃあ、この見られているものをどういう風に活かされているかということになりますと、スポーツの推進であるとか、そういったところには活かされているのでしょうか、ちょっと眼に見えない部分があるのかなというような気がします。</p> <p>これだけ PR が出来ているのであるならば、それをどうやって活かしていくのかというのが、気になる部分であります。</p>
小林委員長	<p>事務局、いまの課題について。</p>
事務局	<p>前に懇親会を開催したときに、山田先生からもお話をいただきましたけれども、やはり、お母さん方は SNS でやり取りをやりながら、色々な情報交換をしているというお話をいただきました。</p> <p>そういったものを利用している方が、かなりいらっしゃいますの</p>

<p>小林委員長</p>	<p>で、それを行政側が上手く使わないと拙いのかなという考えであります。</p> <p>今、村のホームページで色々なもの整備しているのですけれども、そういったものを含めて 29 年度どういった取り組みができるのか、担当課が私どもなので、情報関係の、色々整理しながら取り組んで行きたいと考えています。以上です。</p>
<p>長久保委員</p>	<p>はい、長久保さん。</p> <p>この直売所の計画にある事業の中でも、村の産品を売ると、あるいは 6 次化して売ると、どこの直売所でも農産物は同じようなものですね。</p> <p>ですから、例えば、売れるものを作るというよりも、そのやつをどうして売るかという売り方の問題だと思うんですね。</p> <p>泉崎に本田よう一さんという料理家がありますよね。そういう人を利用して、ああいう方にプロデュースしてもらったものを直売所で食事として出したり、あるいは、今ある産物を何かレシピをそういう方に作ってもらうとか、どこの県だったかトキオ、ジャニーズのトキオ、あの人に宣伝をしてもらったら、飛ぶように売れる。</p> <p>品物がどこでも同じようなものですね。この辺、県南地区というのはまったく同じものですから、その辺のことを考える必要があるのかなと。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>直売所や道の駅を拝見しますと、例えば福島県で言うと国見町に白河市の産品なんかはね、直売所で売っている。同じものですね。</p> <p>そういったこともありまして、今、村で直売所を来年の 1 月に国の方へ申請するというございまして、最後に総合的にですね。</p> <p>村長の方から、ご意見をいただきますが、一つだけ、団長さん、空き家対策ね、これは再利用、結局は空き家を村の方で登録をして、都会の人に結んで送ってもらって、他の町村でやっているところはあるのでね。</p> <p>消防団から見ても、防火の面では心配ではないのですか。</p>
<p>小林委員</p>	<p>心配ですね。誰もいないところから火の手が上がるというのは、1 番心配ですね。</p> <p>また、一人暮らしの家もかなりの数あるということで、心配ですね。</p>

小林委員長	<p>はい、今後もよろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>それでは、皆さんもご存知だと思ひますが、少子化問題では、村長さんのアイデアで、成果を上げているところがございます。</p> <p>29年度の新入生へのランドセルね、無料、それから先ほどこちょっと、この中にでていましたが、子育て賃貸住宅がほぼ完成をして、抽選者が決まったと話を聞いたのですが、色々な話をひっくるめて、最後に村長さん。</p> <p>時間も限られていますので、20分くらいしゃべってください。</p>
村長	<p>はい、これからですね。懇親会の中でも、アルコールも用意してありますので、口も滑らかになるのかなと思ひますので、その中でも色々な意見が聞ければなと思ひますし、今日も多分、ナマズ料理はでるのかな。</p>
事務局	<p>申し訳ございません。</p>
村長	<p>まったくでない。本当。民間でも、養殖で頑張っています。</p> <p>今、色々とお話ができましたけれども、まず、来月の下旬を目標に、結論がでる、直売所問題ですね。</p> <p>当初から、直売所というのは、やはり、そこを起点にして、色々な開発が可能だろうと、やる気になるのだろうという思いで、直売所を考えていました。</p> <p>ただ、予算の関係もあるものですから、せいぜい建物とか、ちょっとした設備に5千万くらいが限界かなと、今の村の状況だと、そう思っていたのですけれども。</p> <p>そこで、6次化産業という大きな目標のもとに、そういった建物とかの箱物ですね。設備も含めて、その補助の対象になるという創生の事業ですね。</p> <p>そういう話があったのでね、ぜひ、積極的に活用して申し込めと。指示しまして、それは大体1億ちょっとくらいは、最大限、可能だろうということで、今、1億1千万で盛んに作ってもらって、猛アタックしておりますけれども、これがぜひ通ればなと思っているのですが、そういった拠点が出来れば、6次化で特産品の開発、これに全村民をあげて、あるいは関心のある人が積極的にそこに参加していただいて、とにかく、特産品を作ろうという思いを持っているのですが、先ほど、長久保さんから話がありましたように、直売所、どこのでもあるのですね。本当に金太郎飴で、どこでアピールできるのかと。</p> <p>私はそこで、すこしでも独自性を出さなくてはならないという思い</p>

を持っていました。

あとはアピールすることも大事だということで、私は本田さんの件も頭に入っていました。

この前ですね。猪苗代で道の駅オープンしましたね。猪苗代で。

その時に弁当の企画をしているのが、本田よう一さんだったのでですね。テレビでやっていました。

色々なアイデアを駆使して、特別な特徴のある弁当を出すということで、企画しているようでありますけれども、猪苗代と泉崎は競合しませんので、また、地元出身ですから本田さんも、定期的に色々な料理教室でないですけれども、食べる部門も作りますので、そういったところで、何かの企画、イベントを実施しながら、客寄せをしたいなという思いを持っています。

それから、有機栽培をしようという思いは、先ほどの特徴を出そうという思いがやはり入っています。

私ども行政の思いとしては、ですからそこで、同じものを、例えば食堂部門も作りますけれども、同じ食べる部門であっても、うちの方でだす素材は、完全に安全のものですよと、有機のものですよと中身はというところで、区別も出来るのではないかと。

あるいは有機、安全、安心ですから、健康に直結するわけですから、そういったところに関心のある方もずいぶんいらっしゃると思うのですね。

そういうコーナーも作って、野菜ばかりではありません。今、色々働きかけをしていますけれども、米の有機栽培も考えているということで、天栄村なんかでは、成功しつつあって、全国に名前も売れているようでありますけれども、これはやっぱり特徴をだそうという思いで、今、21 団体、人も含めてですね。21 の団体が組織を作ってやっているそうでありますけれども、そうすると皆で技術開発をするものですから、生産性もあがっているということで、確立しつつあるようなのです。

今、直売所なんかでは、扱えるほどの量が取れないと、要するに行き先がもう決まっているのだそうです。予約で。1 俵 6 万でみんな決まって売れるそうです。有機栽培で。恐らく民報さんや民友さんも情報はあると思いますが。

そういったことで、確立すれば、名前があがれば、完全に消費者はいるのですね。間違いなく。

それは、成功した例だと思います。

やはり、それだけ地域として本気になってやれば、私は特徴あるものが、出来てくるのだらうと思っています。

恐らく天栄村さん、何をアピールしていくかというところから始

まったのだと思うのですね。

泉崎よりも正直に言って、手前味噌になりますけれども、本当に立地条件、雲泥の差だと私は思っていますし、地形だって悪くないと思っていますし、農協さんがり菜あんで相当成果をあげていますけれども、そういったところに、われわれが同じ直売所をやろうとしているのですから、自然農法的なコーナーを設けたりとか、あるいは、負けるかもしれませんが、泉崎の直売所に行ったときには、色々な道の駅とか直売所の有名なものをお互いに連携をして、近くはなかなか連携できないと思うのですが、ちょっと離れば、お互いに販売しあうと、物を交換しながら、お互いに売っていきましようというようなことで、こぶしの里の穂積さんなんかにも話をしていますが、向こうで色々名物のものを作っていますので、そういうものをぜひこっちで売らせてくれと、あそこも南会津と交流がありますから、南郷トマトに関係するものもここで扱わせてくれというようなことで、泉崎村の直売所に行けば、大半が手に入るというようなことがやはり客寄せをするときに必要だろうということ、なおかつ、有機のものを中心に出すということ、特徴を出す一つになるかなと思っているのですね。

今、その辺もスタートしているのですけれども、そんな思いで直売所の考えを持っています。

地方創生、人口減少対策の面でも先ほど委員長さんが言われたように、天王台でスタートをしましたが、6組、7組の申し込みがあつて、1組に決まりまして、今月から入居をしていただいております。

4名、子供さん2人を条件にしていますから、それとご夫婦健在ということですから、4名の方が移住をしていただきました。

今度も11月の初めから募集を、2棟目も間もなく完成をいたしますので、2棟目を今度はPRをしていきたいと思っていますけれども、恐らくまた、少なくとも前に希望をした方は、また、応募したいと言っていますし、予算が分かればもっと増えるかなと、この事業が理解されれば、広がれば、そういった皆さんが増えるかなと思いますし、議会の中でもお話が合ったのですけれども、2棟、3棟と年間にやる考えはないのかという意見もでたのですが、これからの動きを見てやっていきたい。

少なくとも残りの6組方々、あれば、こっちに移住したいと言っていますから、本当はあと6棟あれば間違いなく、24人の方を引っ張ってこることが可能なのですが、それは、予算がありますから、じっくりこれからの情勢を見ていきたいと思っています。

それから、東口の開発の件も出ました、駅の東口、乗降口の開発

ですね。これは泉崎村の地域を考えたときに、この地域もものすごく近くなる。1.6キロくらいですね。

アクセスとか、色々なことがこちらの方の発展に考えられるということで、役場の機能の有効になる。

もちろん天王台のニュータウンもかなり便利になって、価値が上がるかなと思っていますけれども、色々な要素を加味しまして、そのところを全力投球でやっています。

大分、JR東日本の方でも柔軟性を持っていただいて、最初は何で必要なのだと、突っぱねられたのですが、我々は基本的にお金を出すわけですから、熱意をですね、伝えて、最近はこういうことは可能かと言ってくるそうですから、具体的な橋のかけ方ですとかを言ってくるそうですから。

これは、相談にのってくれるかなということで、スピードアップもして行きたいかなというふうに思っています。

これは村の発展には欠かせないと思っていますし、先ほどの観光地、ここの温泉もかなり知名度が上がって年々、利用者が増えています。そんなことで、ここもぜひアピールをしたい場所なのですが、温泉とかパークゴルフ場とか色々ございます。

後は、鳥峠ですね。ここは結構知名度があるものですから、ここをもう少し、PRして観光の拠点なればなということで、これからもお金をかけながら、環境整備、あるいは、イベント等の開催で盛り上げて行きたいなと思っています。

色々お話はあるのですが、何と言っても後は、これだけの立地条件の中で伸びないのは、行政にも責任があると私は思いますので、基本的に色々やるとしても、とにかく住みたい地域だと、安心して住める、そして楽しめる地域だということが、最終的にはそこにたどり着くということを考えますと、私はやはり子供たち、子育て支援をやっていますけれども、教育全般について力を入れないといけないというふうに思っていますし、そこは大きなポイントだろうなと思っていますし、今度は老後の問題もすぐこの裏ですね。裏の所に介護施設、もう一つ出来ますけれども、やはり老後も安心してこの地域で生活が出来るということも大きなポイントになると思います。

そんなことで、福祉の部門、これは地道にしっかりとアピールをしながら、充実させて行きたいということで、これから色々な施設も含めて、福祉政策を考えて行きたいなというふうに思っております。

その中での皆様方のご意見、アドバイス、提案していただければ、積極的に取り入れて、住みやすい地域を作りたいと思いますので、

<p>小林委員長</p>	<p>今後ともどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>はい、ありがとうございました。今、村長さんの方からも話がでたのでございますが、昨日の議会でも、なんと言っても泉崎村のシンボルは烏峠だろうと。あそこの本殿は、飯坂のけんか祭りでは有名な飯坂神社、その一番古いと思っていた神社より200年古いのですって、その烏峠は。立派な彫刻等もございますので、ただ皆様方もご存知のとおり拝殿はボロボロで、村としても何とかしなくてはならないだろうなという話が出ているということは事実でございます。</p> <p>それでは、そろそろ、時間ですね。皆様からのご意見あるかもしれませんが、懇親会の中でということで、事務局、その他の3番、今後の日程とか。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい、今後の日程等でございますが、平成28年度の事業の評価を年度終了後に行いたいと考えております。</p> <p>また、ご通知差し上げたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>今、いただいたご意見等は29年度に反映させるべきものを事務局の方で整理をいたしまして、各課調整のうえ、反映させるものにつきましては、即座に反映をさせていきたいと考えております。</p> <p>今後も忌憚のないご意見をいただければと思っております。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>ほか、何かご質問等がなければ、本日、予定しておりました議事については、すべて終了とさせていただきます。</p> <p>皆様から大変貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。長時間にわたりご審議ありがとうございました。</p>
<p>事務局</p>	<p>－閉会－</p> <p>小林委員長、本当にありがとうございました。</p> <p>それでは以上をもちまして、第6回泉崎村地域創生・人口減少対策委員会を終了とさせていただきます。</p> <p>本日は誠にありごとうございました。</p>